

様式3 令和7年度新座市学校評価システム学校運営協議会による評価シート

目指す学校像 (重点目標)	「一人一人の確かな成長を実現するため、教育活動の効率化、質の向上を目指す」
	I 令和の日本型学校教育の実現
	II ICT危機の積極的な活用
	III 豊かな心と健やかな体の育成
	IV 家庭・地域との連携推進

学校名	新座市立第五中学校
実施日	令和8年1月14日

<記入の仕方>

- 「自己評価」及び「学校運営協議会による評価」の欄には、S A B Cを記入してください。
- 「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるか特記事項がある場合のみ記載してください。

評価項目「組織運営」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、目指す学校像を実現するため、業務の効率化を進め、分掌組織全体で学校運営に取り組んでいる。	A	・校長より示された指針を踏まえ、分掌や担当が試行錯誤しながら業務の効率化を進めている。今後も情報の共有を図り、学校全体で同じベクトルをもって取り組んでいく。	A	・校長のリーダーシップのもと、学校全体で業務の効率化を進めている。目指す学校像が浸透していて、教職員が一体となって同じ方向を目指して教育に取り組んでいる。

評価項目「学力向上」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、「主体的・対話的で深い学び」の授業を実現するために、ICTなどを積極的に活用し取り組んでいる。	A	・ICTを授業で積極的に活用することはもちろん、より効果的な活用方法を模索している。また、生成AI等を活用した授業を率先して取り入れたり、生徒が必要に応じてツールを選択して活用したりするなど、授業改善に取り組んでいる。	S	・学力の捉え方がしっかりしている。生徒アンケートからも学力向上の取組が充実していることがうかがえる。生徒の自覚が素晴らしい。ICTにとらわれすぎず、効果的にうまく活用している。

評価項目「豊かな心の育成」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、生徒に豊かな心を育むため、人格を尊重し、個性を伸ばしながら取り組んでいる。	A	・校内支援センターとしてアスサポルームを運営し、学校や教室に行きづらい子の居場所として機能している。家庭環境や人間関係など、様々な課題を抱える子供たちが、安心して相談できる体制づくりができている。今後も個に応じた丁寧な支援を進めていく。	A	・体験的な活動が充実している。アスサポルームという場がうまく機能しており、不登校生徒に限らず、多くの生徒にとって安心できる場となっている。そこで関わる教職員の対応がとても大切で、形だけではなく「人」がとても重要である。

評価項目「健康・体力の向上・安全」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、生徒の健康の保持増進のため、授業や部活動などで指導するとともに健康教育や食育に取り組んでいる。	A	・昼休みの校庭や体育館の開放など、生徒が主体的に活動している。部活動は任意加入であり、地域展開も少しずつ進んでいる中であるため、自主的・主体的に活動している生徒との運動量の差が生まれている。今後検討していく必要がある。 ・栄養教諭が毎日給食を巡回するなど、生徒の実態を踏まえた食育を進めている。	A	・学校の取組自体は素晴らしく、生徒主体で活動できている。個人差は生じているが、今後は保護者にも働きかけ、学校・家庭・地域が一体となって健康教育に取り組めるとよい。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、通信やHP、保護者会などで情報提供に努め、目指す学校像の実現のため、学校運営協議会、PTA、後援会、各家庭・地域と連携し取り組んでいる。	A	・学校HPやC4thによる配信メールなどで学校に関心を持ってもらえるような情報提供に努めている。また、昨年度からの「五中アフターチャレンジ教室」を継続し、地域の学習塾の協力を得ながら生徒の学力向上に取り組むことができた。今後も、保護者や地域の負担にならない程度に、無理なく可能な範囲で協力を依頼していく。	A	地域への情報発信はできている。地域としても協力できる体制をつくっていく。地域の活動や行事への参加が増えるとよい。中学生は面倒見もよく、とても頼りになる。校内の掲示板上に地域コーナーを設けるなど、学校でも後押しができるとよい。地域の特性を生かして、社会貢献の推進に取り組んでいきたい。